【授業科目】ジェンダー論　　Gender theory

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
松本 彩月	１年次 後　期	選　択	1	１５	講　義			可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／ジェンダーとは何か。いわゆる〈女らしさ〉〈男らしさ〉とは何か、どこからくるのか。家庭、職場、社会などのあらゆる場面で、生物学的ではなく文化的に性別で人をしばり、生きづらくさせている観念について、その現象や問題点などを学ぶ。制度を改変すれば解決する問題から、制度の改変の問題ではないことまで、まずはその問題に気付くこと。他人事ではなく我が事として意識し、解決できるようになることを目指す。 進め方／オンデマンド形式で行う。 フィードバック方法／学生からのコメントなどについては、適宜、授業でも紹介し、問題を共有して考えを深める。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間として自己の成長に努め、社会人として広い見識と確かな倫理観を持ち、臨床検査の対象となる人々に愛情豊かに共感をもって接することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①　ジェンダーとは何か、基本概念を理解できる。 ②　社会の中にあるジェンダーに気づき、問題意識を持つことができる。 ③　性別ではなく、個人を基礎とする考え方に立って行動できる。
時間外学習に必要 な学修内容および 学習上の助言	事前学習：テーマに関して、インターネット等で検索し読んでおく。（各90分） 事後学習：授業で指摘した問題点について、新聞や広告、商品、人間関係などの中にそれに関連する問題点を見つけ、原因や背景、現状について分析する。（各150分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　ガイダンス・ジェンダーバイアス 第２回　性別役割分業＜出産・育児・労働＞ 第３回　恋愛・結婚・離婚 第４回　ジェンダーと社会保障 第５回　メディアとジェンダー表現 第６回　ケアとジェンダー 第７回　ジェンダーに関係するハラスメント 第８回　＜性別＞ではなく＜個人＞として生きる 全て 松本
評価方法 評価基準	毎回のコメント提出　40％ レポート　60％
教科書	なし。毎回講義時に資料を配布します。　　参考書等　なし
学生への メッセージ	ジェンダーは現代の社会現象を理解する上で不可欠といっていいほど重要な視点であるとともに、生き方や生きづらさに関係する個人的な問題でもあります。ジェンダーにまつわるややこしい問題について、まずは意識することから始めましょう。